

所管課による評価①

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

| | | | |
|------|--|--------|---------------|
| 施設名称 | 川崎市橋リサイクルコミュニティセンター | 評価対象年度 | 令和4年度 |
| 事業者名 | ・事業者名 テスコ株式会社 ・代表者名 高橋 久治 ・住所 千代田区西神田一丁目4番5号東光電気工事ビル | 評価者 | 減量推進課長 |
| 指定期間 | 平成31年4月1日～令和5年3月31日 | 所管課 | 環境局生活環境部減量推進課 |

2. 事業実績

| | |
|-----------|--|
| 利用実績 | 令和4年度総来館者数 15,064名(前年度比331名増) コロナ禍の影響による休館はなく、来館者数は対前年約2.2%の増加となった。 ※詳細は「橋リサイクルコミュニティセンター別紙資料」参照 |
| 収支実績 | 1 収入 (1) 予算額19,593,407円 【内訳】・指定管理料19,386,481円 ・利用料金収入53,000円 ・その他収入153,926円 (2) 決算額19,695,360円 【内訳】・指定管理料19,386,481円 ・利用料金収入101,200円 ・その他収入207,679円 2 支出 (1) 予算額19,593,407円 【内訳】・事業活動19,593,407円 (2) 決算額19,892,750円 【内訳】・事業活動19,892,750円 3 自主事業 (1) 収入 【予算】1,430,000円 【決算】2,777,560円 (2) 支出 【予算】305,557円 【決算】71,346円 ※詳細は「橋リサイクルコミュニティセンター別紙資料」参照 |
| サービス向上の取組 | 新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、利用者は減少しているものの、Facebookなどを用いての広報や、HPによって家具の特性や写真を分かりやすく添付し、サービスの向上に努めた。 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止していた橋リサコミマルシェを復活させるとともに、七夕大半年額セールなど小規模なイベントを実施し、利用者が楽しみながら環境について学べる機会を提供した。 |

3. 評価

| 分類 | 項目 | 着眼点 | 配点 | 評価段階 | 評価点 |
|---|--------|---|----|------|-----|
| 利用者満足度 | 利用者満足度 | 利用者のニーズ等を捉えるための具体的方策を実施しているか | 14 | 3 | 8.4 |
| | | 利用者ニーズ等を適切に分析しているか。 | | | |
| | | 意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか) | | | |
| | 事業成果 | 事業実施における自己評価を行っているか。 当初の事業目的を達成することができたか | 8 | 3 | 4.8 |
| (評価の理由) 令和2年度から実施した、インターネット応募のみの受け付けにより先着順で家具を無償譲渡する「早トクネット」を継続して実施し、申込時の利便性の向上や感染症対策に繋がった。 また、令和3年度に立ち上げた職員主催の「へたうまくらぶ」という教室を継続して開催し、製作費用を抑えるため100円ショップの材料と不用品で作品を作り、下手でも喜びを分かち合うといったコンセプトで参加者を定着させた。 令和2年度に見直した新しい家具の提供方法の継続、工夫を凝らした新規講座の開設等、利用者数増加の取組を多角的な視点で実施し、事業目的を達成した。 | | | | | |

| | | | | | |
|---|---------------|---------------------------------------|----|---|-----|
| 収支計画・実績 | 効率的・効果的な支出 | 計画に基づく適正な支出が行われているか | 11 | 4 | 8.8 |
| | | 支出に見合う事業が行われているか。 | | | |
| | | 効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか | | | |
| | 収入の確保 | 計画通りの収入が得られているか | 3 | 4 | 2.4 |
| | 適切な金銭管理・会計手続 | 指定管理経費とその他業務に係る経理を区分し、適切に管理しているか。 | 6 | 3 | 3.6 |
| 事業収支に関して適正な会計処理が為されているか | | | | | |
| <p>(評価の理由)</p> <p>指定管理業務に係る収入については、約1,970万円であり、ほぼ令和4年度予算通りとなっている。指定管理料収入は、新型コロナウイルスの影響による休館はなく、安定的な収入を確保した。自主事業による収入については、昨年度は新型コロナウイルスの感染防止のため中止していた「橘リサコムマルシェ」を復活させ、常設フリーマーケットなどでは品物を吟味して価格設定を行ったことにより、令和4年度予算比94%増の収益を確保した。</p> <p>指定管理業務に係る支出については、無駄のない人員配置やスタッフの定着とスキルアップ、社内対応できる修繕を可能な限り社内に対応したこと、閉館を見据え消耗品等の購入を抑えたことにより支出を抑えたが、利用者からの要望に可能な限り応えるため閉館を12月から3月まで延長したことによる人件費の増のため、予算を上回った。一方で、自主事業支出を抑えたことと、自主事業収入が予算を大幅に上回ったことにより、指定管理業務・自主事業全体としては、収入が支出を上回る結果となった。</p> | | | | | |
| サービス向上及び業務改善 | 適切なサービスの提供 | 提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか | 8 | 3 | 4.8 |
| | | サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか | | | |
| | | 利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか | | | |
| | 業務改善によるサービス向上 | 業務の遂行にあたって、現状分析、課題把握に取り組んでいるか。 | 6 | 3 | 3.6 |
| | | 業務改善が必要な場合に、改善策の検討と実施が行われているか | | | |
| | 利用者の意見・要望への対応 | 利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか | 6 | 3 | 3.6 |
| 利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか | | | | | |
| <p>(評価の理由)</p> <p>ホームページなどで季節のイベントや当月展示されているリサイクル家具の情報をわかりやすく広報するとともに、令和4年度もセンターの事業活動やイベント情報を発信する広報誌として「橘リサコムだより」を発行した(年2~3回発行)。</p> <p>また、令和2年度から実施している「早得ネット」の継続や、職員主催の新規教室を開設し、常連を少しずつ増やし定着させた。</p> <p>感染症対策としては、館内換気の徹底、随所でのアルコール消毒、利用者のマスク着用、スタッフ・イベント参加者の検温など、細心の注意を払いながら施設運営を行った。</p> | | | | | |

| | | | | | |
|--|------------------------|---|----|-----|-----|
| 組織管理体制 | 適切な人員配置 | 必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか | 6 | 3 | 3.6 |
| | 連絡・連携体制 | 定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか | | | |
| | 再委託管理 | 再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか | 2 | 3 | 1.2 |
| | 担当者のスキルアップ | 業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修・会議等が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか | | | |
| | 安全・安心への取組 | 事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等) | 4 | 3 | 2.4 |
| | | 緊急時に警察や消防など関係機関と速やかに連携が図れるよう、連絡体制を構築しているか。 | | | |
| | コンプライアンス | 個人情報保護、その他の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか | 4 | 3 | 2.4 |
| | 職員の労働条件・労働環境 | スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか | | | |
| 環境負荷の軽減 | 環境に配慮した調達や業務実施が行われているか | 2 | 3 | 1.2 | |
| (評価の理由) 所在が明確になる組織体制を構築し、防火管理者等の有資格者を配置しており、消防設備・電気工事など実務経験のある本社スタッフからの協力体制を敷いている。減量推進課との情報共有は月例報告会に加え、必要に応じ、随時行っている。採用時教育研修等に加え、個人情報保護教育研修等を受講することで担当者のスキルアップが図られている。利用者の安全確保のため、緊急時対応マニュアルなどの整備を行っている。また、緊急時は本社と施設において24時間体制の連絡・連携体制を整えるとともに、警察署、機械警備会社等管理上連携が必要な機関について、緊急時連絡網を作成し、事務所内に掲示している。法令に基づいた健康診断を全スタッフが受診及び再検査が必要なスタッフへのフォローを行うことで、労働者の健康維持のために適切な労働環境を整備している。物品購入は必要最小限とし、購入の際にはグリーン購入の推進をした。また、間引き照明やLED照明器具への交換、生ごみはキョーロ(生ごみ処理機)に入れて処理をするなど、エネルギー使用量を削減しながら施設運営を行った。 | | | | | |
| 適正な業務実施 | 施設・設備の保守管理 | 安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか | 20 | 3 | 12 |
| | 管理記録の整備・保管 | 業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。 | | | |
| | 清掃業務 | 施設内の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか | | | |
| | 警備業務 | 施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか | | | |
| | 植栽管理 | 植栽等の維持管理を適切に実施しているか。 | | | |
| | 備品管理 | 設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか | | | |
| (評価の理由) 施設・設備の保守管理や管理記録の整備・保管が適切に行われ、日常清掃や定期清掃の実施により、施設内の清潔さを保持し快適に利用できる環境を維持した。警備業務、植栽管理についても適正に執行し、施設利用者が安心して快適に過ごせる環境を整備した。また、備品台帳の作成や棚卸しの実施、備品の写真台帳を作成するなど備品管理が適切に行われていた。 | | | | | |

4. 総合評価

| | | | |
|-------|------|-------|---|
| 評価点合計 | 62.8 | 評価ランク | c |
|-------|------|-------|---|

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

市民による廃棄物の再利用及び再生利用に係る活動への支援並びに廃棄物に係る市民への環境学習を行う施設として、条例、規則等に定められた施設管理・運営、事業運営が適正になされていた。

リサイクル家具の提供にあたって、展示場内に家具申込の方法やルールの掲示や季節に応じた展示品の提供を行うなど、来館者にわかりやすいよう業務の改善を行い、利用促進につながる取組を実施していた。また、教室については職員が主催の教室を継続して開催し、参加者を定着させ、サービスの向上に努めた。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としていた桶リサコマルシェを復活させるとともに、大半額セール、終売セールなど小規模なイベントを継続して開催したり、季節に応じた展示品の陳列を行うことで、閉館を見据え在庫を残さないよう販売促進に努めた。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら、全体的に安定した施設管理運営を行い、利用者サービスの向上の手法を検討し、実践していることから、適正な指定管理業務を実施したと評価する。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

- ・令和4年度末をもって施設廃止

橘リサイクルコミュニティセンター別紙資料

橘リサイクルコミュニティセンター利用者実績 (単位：人)

| | R4 年度 | R3 年度 | 前年度増減 | H31 年度 (参考) |
|---------------|--------|--------|-------|----------------|
| 再利用品展示・提供コーナー | 13,686 | 13,103 | 583 | 13,392 |
| 学習室 | 67 | 87 | △ 20 | 100 |
| 実践コーナー | 189 | 280 | △ 91 | 244 |
| 会議室 | 932 | 995 | △ 63 | 825 |
| 施設見学等 | 190 | 268 | △ 78 | 192 |
| 合計 | 15,064 | 14,733 | 331 | 14,753 |

| | R4 年度 | R3 年度 | 前年度増減 | H31 年度 (参考) | |
|----------|------------------|--------|-------|----------------|-------|
| 家具類等出展数 | 360 | 480 | △ 120 | 480 | |
| 家具類入場者数 | 15,064 | 14,638 | 426 | 13,392 | |
| 家具類応募者総数 | 2,262 | 2,984 | △ 722 | 4,117 | |
| 内訳 | 家具類応募者数(来館) | 1,538 | 2,059 | △ 521 | 3,383 |
| | 家具類応募者数(インターネット) | 724 | 925 | △ 201 | 734 |
| 当選平均倍率 | 6.3 | 6.2 | 0.1 | 8.6 | |
| 早トク 展示数 | 120 | 150 | (30) | 170 | |

※当選平均倍率とは、家具類応募者総数を家具類等出展数で除した数値です。

| | R4 年度 | R3 年度 | 前年度増減 | H31 年度 (参考) |
|--------------|-------|--------|---------|----------------|
| 古布類持込量 (k g) | 8,904 | 10,441 | △ 1,537 | 9,042 |
| 廃食用油持込量 (L) | 160 | 191 | △ 31 | 140 |

橘リサイクルコミュニティセンター収支決算 (単位：円)

| | R4年度予算 | R4年度決算 | R3年度決算 | 前年度増減額 | 増減率(%) | H31年度決算 (参考) | |
|------|-----------|------------|------------|-------------|-------------|-----------------|------------|
| 収入 | ①事業活動収入 | 19,593,407 | 19,695,360 | 22,137,989 | △ 2,442,629 | △ 11.2% | 21,822,897 |
| | 指定管理料収入 | 19,386,481 | 19,386,481 | 21,790,185 | △ 2,403,704 | △ 11.1% | 21,592,787 |
| | 利用料金収入 | 53,000 | 101,200 | 77,000 | 24,200 | 42.6% | 56,750 |
| | その他収入 | 153,926 | 207,679 | 270,804 | △ 63,125 | △ 36.4% | 173,360 |
| | ②自主事業収入 | 1,430,000 | 2,777,560 | 2,386,575 | 390,985 | 15.5% | 2,529,205 |
| | 合計 ①+② | 21,023,407 | 22,472,920 | 24,524,564 | △ 2,051,644 | △ 8.4% | 24,352,102 |
| 支出 | ③事業活動支出 | 19,593,407 | 19,892,750 | 20,485,769 | △ 593,019 | △ 2.9% | 20,705,092 |
| | ④自主事業支出 | 305,557 | 71,346 | 5,446 | 65,900 | 26.7% | 246,633 |
| | 合計 ③+④ | 19,898,964 | 19,964,096 | 20,491,215 | △ 527,119 | △ 2.5% | 20,951,725 |
| 収支差額 | 1,124,443 | 2,508,824 | 4,033,349 | △ 1,524,525 | △ 44.8% | 3,400,377 | |